



初期症状を見逃さないことが、経口摂取を支援していく重要な力になります。例えば食べることを嫌がつたり、食べ始めないと、口を開けたままな

べるのは記憶障害だと思います。しかしながら脳の病気で
ある認知症では記憶障害のみ
ならず、見当識障害、実行機能障害、理解・判断力の障害等を伴い、認知症の末期では食べることができなくなるケースも少なくありません。

患者数は462万人、さらに2025年には700万人を超えるとの推測が厚生労働省より発表されました。認知症と聞くとみなさんが思い浮かぶ

認知症と摂食嚥下障害の関係とは？

マーキング認知症では先行期の偏食が特徴です。すべて的人に該当するわけではありませんが甘味を強く好む傾向が見られた
り、食事を食べたことを忘れる近時記憶障害や食事を食べ始めない、他に気を取られるなどの見当の習慣や性格も踏まえたうえで、認知症の末期には経口摂取が必要な食塊形成が難しくなり食べ物の取り込みや舌の動きが重いいるため口腔周囲筋を使う食べこぼしや誤嚥が起こしやすくなります。

認知症の末期には経口摂取が困難になるという事を前提に、種類や進行度だけではなく個々の習慣や性格も踏まえたうえで、食支援していきましょう。

ソーン症状が顕著なため、ソーン症状ではパーキンソン症候群の患者の摂食嚥下リハビリテーション（認知症患者の摂食嚥下リハビリテーション 参照）

の先行期で見られる症状です。（左上図）認知症の進行度にもよりますが、食べ物を食べ物と認識しているか、食物への意欲があるか、器具をうまく使っている観察すると良いでしょう。また、認知症の種類によつても違いがあると言われています。最も多くは嚥下5期の一一番最初、つまり、口内、口差動もあります。また、薬の副作用の影響による意識レベルの低下、食欲低下も特徴的です。前頭側頭型認知症は自己中心的、短絡的な行動や意欲低下、常同行動などが特徴で嗜好の変化による偏食や大食が見られます。食事中の立ち歩きや食事場所のことだわりなどもこのタイプの認知症に多いです。

患者様・ご家族様への今月のお願い

平成28年9月30日で「障がい者医療証」の期限が切れています。スタッフ等に医療証のご呈示をお願い致します。

==== スタッフ編集後記 === 



早いもので10月になり今年も残り2ヶ月となりました。娘も今月で6ヶ月になり1/2バースデーをしなくてはなりません(笑)9月は逆の寝返りができるようになります、寝相がますます悪くなっています。気づいたら逆になっていたり布団の間に挟まっていることもあります。先月は初めて娘とデートをしましたが、母乳をやっているのでお腹が空くと一生懸命ミルクを作てあけるのですがやはり泣いてしまいます。母親は偉大だなと感心させられました。早く母乳を卒業して空腹を気にせずにデートしたいもんです。

『根の治療は時間がかかる？』

